

(第1号議案)

2003年8月

## 環境監査研究会 2002 年度事業報告

最初に、2002 年度につきましては9月に港区芝に新事務局を設置しました。ただし、事務局スタッフが不在のままなので、引き続き募集中です。

### ①定例会

#### 2002 年

- 第128回 (9/15) 「エコラベル・タイプⅢ、JEMAI Project」  
(社)産業環境管理協会 調査企画部 技術顧問 山本英明氏
- 第129回 (10/13) 「ハネスブルグ地球サミット(WSSD)報告」  
環境パートナーシップ・オフィス 木原ちあき氏
- 第130回 (11/17) 「排出権取引(及びCDM)」  
経済産業省 産業技術環境局環境政策課地球環境対策室調整係長 井上 学 氏
- 第131回 (12/8) 「土壌汚染対策法」  
環境省環境管理局水環境部土壌環境課課長補佐 荒木 真一 氏

#### 2003 年

- 第132回 (01/19) 「地域通貨」  
大和市情報政策課副主幹 小林 隆 氏
- 第133回 (02/16) 「排出権取引」  
松尾直樹氏 Climate Experts 代表
- 第134回 (03/16) 「環境格付」  
環境経営格付機構理事 木俣 信行氏(鳥取環境大学教授)
- 第135回 (04/13) 「環境省 EPI 改定版」  
日本総合研究所 創発戦略センター 佐藤 洋二氏
- 第136回 (05/18) 「有機食品の検査認証制度の概要とコーデックスガイドラインの解説および関連する国際合意」  
日本有機食品認定連絡協議会会長 岩泉 好和 氏
- 第137回 (06/15) 「環境マネジメントの変遷—リコーグループで取り組もうとしているCSR」  
リコー 社会環境本部 兼CSM本部兼 CSR室審議役 中丸 進 氏(会員)
- 第138回 (07/13) 「EU化学物質政策の現状」  
弁護士 佐藤 泉 氏 (会員)

### ②出版物

- (1) 2002年11月、「GRI サステナビリティ・レポートینگ ガイドライン2002」  
翻訳監修しました。(出版はGRI 日本フォーラム)
- (2) 2003年4-6月 「新・かならずわかる ISO14000s 講座」No. 1, 2, 3, (工学研究社) — 編著  
1995年・1998年にISO関連の通信教育テキストを作成しましたが、古くなりましたので95年のものは廃止、  
98年のものは、退会した会員もいますので新メンバーで全面的につくりかえました。

### ③シンポジウム

設立11周年記念会合(2002/8/31)「企業の社会性取組とGRIガイドライン」

13:30 基調講演「企業の社会性とインテグリティ―社会と市場が変わる時代にあって―」

高 巖氏 麗澤大学 倫理研究センター教授

14:45 「GRI 2002年版ガイドラインについて」後藤 敏彦氏 EARG代表幹事、GRI理事

15:15 パネルディスカッション

コーディネーター 後藤敏彦(前出)

パネリスト 稲永 弘氏 株式会社トーマツ審査評価機構代表取締役社長、EARG理事

川村 雅彦氏 株式会社ニッセイ基礎研究所主席主任研究員

藺田 綾子氏 株式会社クレアン代表取締役社長

菱山 隆二氏 企業行動研究センター所長(元三菱石油(株)顧問)

16:50 シンポジウム終了

### ④ サロン

元幹事で長年ご活躍いただいた上原さまのご好意で下記の企画をしました。

テーマ 韓国 Dr. Lee氏の講演と懇談(英語) リー氏は韓国での環境ラベルの第一人者です。

1. 韓国での環境マネジメントの状況
2. 韓国でのエコラベル
3. その他、韓国での環境関連の話題

日時 3月11日(火) 18:00-20:00 その後、有志で懇親会

場所 富士総研 竹橋オフィス会議室 参加者 11名

料金 無料

### ⑤ その他

(1) 2003年6月 「EARG News」 再開

(2) ホームページ、メーリングリスト

ホームページは、以前は酒井幹事にお世話になっていましたが、期中から独自運営となりましたが専任者がみつからず永田幹事のご協力により運営しています。メーリングリストについても担当するものがみつからず立ち上がっておりません。

以上